

第1回 推進会議（R5.8.2）以降の検討経緯

○ 8月2日（水） 第1回「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議

○ 8月下旬～9月中旬 コンビナート各社への個別ヒアリング（大分県）

**Task 1では「グリーン・コンビナートおおいた」の構想策定に向け、
その根拠となる基礎調査やインフラの調査を遂行**

※第1回「グリーン・コンビナートおおいた」推進会議（R5.8.2）資料より

Task 1のサブタスクと主要な論点

今回の「中間報告」にあたっての主要な検討項目

<p>Task 1-1 各種基礎調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水素・アンモニア需要はどのような用途でどの程度存在するか ■ 水素・アンモニア供給はどのような製造プロセスごとにどの程度存在するか ■ CO₂排出量はどの程度で、その出自はどのようになっているか。また、そのうち回収ポテンシャルはどの程度か ■ 再エネ賦存量はどの程度あり今後どの程度の増加を見込むか。また、そのポテンシャルはどのように運用されるべきか ■ 開発が進む新規技術にはどのようなものがあり、いつ頃実装化されるか。また、大分コンビナートとの親和性はどうか
<p>Task 1-2 「グリーン・コンビナートおおいた」モデルの検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大分コンビナートの現状の特性（立地産業・企業、集積度合、製造品目、エネルギー消費量、使用エネルギー種）はどのようになっているか ■ 「グリーン・コンビナートおおいた」の定義はどのようか。現状からCNに向けてどのようなトランジションが描けるか ■ 「グリーン・コンビナートおおいた」構築にあたってはどのような機能が必要か ■ それを補うためにどういったスキームが想定され、どういった企業・地域と連携することが望ましいのか。
<p>Task 1-3 モデル実現に必要な インフラ・設備の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「グリーン・コンビナートおおいた」構築にあたり、必要となる設備・インフラ（荷揚設備・貯蔵タンク・水素化設備・輸送パイプライン）はなにか ■ その仕様はどういったものが想定されるか ■ その投資額はどの程度になるか ■ インフラ・設備の（想定される）整備主体
<p>Task 1-4 構想策定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 大分コンビナートが目指す「グリーン・コンビナートおおいた」とは具体的にどういったものか ■ 2030年・2050年のビジョン達成に向け、必要なアクションはなにか ■ それらアクションはどの程度の期間を有し、いつから着手すべきか ■ 複数のアクションはどのような相互関係があり、どのような手順で着手すべきか ■ 中長期的のみならず、短期的（来年度等）にはどのようなアクションが必要となるか

○ カーボンニュートラル検討プロジェクトチーム会議（10/2、10/18）

→ 本日 10月23日（月） 第2回 推進会議（中間報告）

→ 令和6年1月18日（木）第3回 推進会議（「構想」最終取りまとめ） ※予定